

感動呼んだ金沢泰子さん 翔子さんの講演



「やすね」で31日、撮影

やさしさが一番力を与える、エネルギーになる

私立保育園協会の「保育を高める集い」に参加してきました。今回は書家の金沢泰子さん、翔子さん親子による講演がメインでした。翔子さんはNHKの大河ドラマ「平清盛」の題字を担当し、若手書家として注目されている人です。

講演の前に翔子さんが大きな筆で「感謝」という文字を書きました。書きあげた時、翔子さんが小さな声で何かをつぶやきました。お母さんの泰子さんが「そんなことはないよ」と言われたのが耳に入ってきました。何とおっしゃったのでしようか。出来上がった作品は力強い見事な書でした。

泰子さんは「天使がこの世に降り立てば：ダウン症者の書家 翔子と歩んできた道」と題して約1時間半、話をされました。「翔子は不思議なところがある。多くの人が翔子の書を見て涙を流してください。また多くのことが叶うようになった」と前置きした後、翔子さんがダウン症だとわかった時のこと、パートナーであるお連れ合いや妹さんが相次いで亡くなったことなどを語りました。一つひとつの話に惹き込まれました。

泰子さんの話には、翔子さんとの歩みの中でわかったことが詩のような言葉で出てきます。「翔子は生まれながらの感性が汚れていない」「明るい中では光は見えないが、闇の中では光は良く見える」「比べなければ障がいなんてない」「生きてさえいれば絶望はない」「翔子にとつて花も人間も犬も月もみんな同じ魂です」「やさしさが一番力を与える、エネルギーになる」いずれも心にビンビンと響くものでした。

驚いたのは泰子さんの講演の後半に、待ちきれなくなつた翔子さんが会場に入り、演壇の前で踊りだしたことです。「年中、恋をしている」（泰子さんの話）翔子さんの今の恋の相手はマイケルジャクソン、彼の曲に合わせて楽しさいっぱいの踊りを披露してくれ

6月議会の審議日程(会議開始時間は午前10時)

月 日	会議名	場所	備考
6月 6日 (金)	本会議	議場	提案説明
6月 9日 (月)	文教経済委員会	第1委員会室	平良木議員担当
6月10日 (火)	厚生委員会	第1委員会室	私が担当
6月11日 (水)	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月12日 (木)	総務委員会	第1委員会室	上野議員が担当
6月13日 (金)	本会議	議場	一般質問
6月16日 (月)	本会議	議場	一般質問
6月17日 (火)	本会議	議場	一般質問
6月18日 (水)	本会議	議場	一般質問
6月20日 (金)	本会議	議場	付託案件採決

ました。そして最後は、「私、マイケルジャクソンと結婚します。みなさん、幸せになってください」。天国のマイケルも喜んでしようね、この言葉には、翔子さんの誕生日は6月12日。最後は参加者全員で「ハッピーバースデー ツーユー」を歌いました。感動の講演会でした。

右表の通り、6月議会が6日から始まります。ぜひ傍聴にお出かけください。その際、私たちの控室にもお立ち寄りください。



【ミヤマヨメナ】キク科の多年草。漢字で「深山嫁菜」と書きます。この時期に咲く野の花の中ではササユリと並んで大好きな花。ミヤコワスレの原種と言われています。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1660 2014.6.8
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い 第三〇八回 落下したツバメ(2)

一度あることは二度あるって本当ですね。昨年の八月、車庫の巣から落ちたツバメのことを書きました。めったにないことだと思っていたのですが、先日、その車庫のある事務所に行ったら、ツバメの子が今年も落ちたというのです。

今年も異常気象です。この日も、まだ五月だというのに真夏のような暑さでした。板山不動尊のそばで土建業をやっている章喜さんの事務所を訪ねたのは午前八時半頃です。ウグイスが「ケチヨ、ケチヨ」と鳴いていました。用が済んで帰ろうとしたところで、章喜さんから「今年もツバメの子が落ちちゃったがど」と声がかかりました。

章喜さんは、どんな様子なのか見てみたいという私の気持ちを察したのでしよう、すぐに腰を上げ、巣のある事務所脇の車庫へ案内してくださいました。ツバメが巣をかけた場所は昨年と同じく、パイプで造った車庫の屋根裏でした。

今年はその巣からツバメの子が二羽落ちたといいます。そのうち一羽はコンクリートに体を打ちつけ即死、一羽は打ちどころがよかったのか助かりました。その事故があったからドラマが始まりました。章喜さんは対策を考え、巣の下に白色のマットレスを敷き、ちようど巣の真下あたりにタオルを入れた縦横三〇センチほどの紙の箱を置きました。箱の中には運よく助かった子ツバメが一羽いました。子ツバメは黄色い口を大きく開けて、餌を催促しています。親ツバメが二羽、飛び回っていました。子ツバメに餌を与えることはありませんでした。

章喜さんによると、落ちた子ツバメは一度は巣に戻したものの、また落ちてしまったといえます。落ちたのか、落とされたのかは分からないそうです。いったん人間の手にふれると、いくら自分の子であっても親ツバメは子の面倒をみないのではないかと、とも言っておられました。

昨年場合は八月で、事務所の周りにバツタなどがたくさんいたので、餌には困らなかったのですが、今回は違いました。まだバツタなどの昆虫類がたくさん出てくるまでには時間がありません。それで、どうしたか。章喜さんは、ホームセンターへ行って、さなぎを買ってきて、餌としてくれたのです。

餌くれは、人間のように三食ならまだしも一日に何十回もくれる必要があるのか。それに、ヘビなどの危険から身を守ってやることも必要です。ひとりでする仕事ではないので、家族みんなが交代でツバメの子の餌くれや見張りをしているそうです。

ツバメの子が巣から落ちたというニュースは、その日のうちにインターネットで発信されました。「ツバメの赤ちゃんが巣から落下」と書いたら、何人もの人から便りが寄せられました。「私の地元のランさんからは、「巣には戻せませんか。お世話たいへんでしょうが、飛べるまでがんばって」と応援メッセージがありました。三和区のトシコさんは、「幼い頃、猫を飼っていて、出産したばかりの子猫を見たら、翌日に母猫が我が子の首を食いちぎった記憶が鮮明に残っています。動物の世界も厳しいんだね」と言葉を送ってくれました。みんな、心配しての便りでした。

いうまでもなく私も気になりました。四日後、章喜さんに電話したところ、餌をくれていると、手のひらから腕を伝わって肩まで行くようになったと嬉しそうでした。そしてこう言って笑いました。「忙しくて仕事にならんがど。商売あがったりだ。ここま

コミュニティ助成事業は件数、金額とも昨年度の半分

宝くじの社会貢献広報事業として実施されているコミュニティ助成事業の今年度分が決まりました。

神輿(みこし)、防犯灯、除雪機などを助成する一般コミュニティ助成事業、集会施設の建設整備を助成するコミュニティセンター助成事業の合計で見ると、今年度の件数は8件(昨年16件)

で、金額は3,020万円(昨年、5,920万円)であり、どちらも昨年度の半分まで落ち込みました。

(除雪機。記事とは直接関係ありません)



豪雨期を前に党議員団で避難所の災害関連備品の調査を行いました。写真は5月28日、ラーバンセンターです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	5月28日(水)	6月4日(水)
上越南消防署	0.030	0.036
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.047	0.050
東頸消防署	0.050	0.060
高士分遣所	0.043	0.053
名立分遣所	0.053	0.050

団体名	区名	事業内容	助成金額
下牧町内会	柿崎	除雪機の購入	220万円
水野町内会	柿崎	除雪機の購入	220万円
中野町内会	大島	除雪機の購入	230万円
NPO法人三和区振興会	三和	テントの購入	100万円
北代自治会	三和	防犯灯の整備	250万円
遠野町内会	板倉	除雪機の購入	250万円
三ヶ字連合会	名立	防犯灯の整備	250万円
以上、一般コミュニティ助成事業 小計			1,520万円
石橋町内会	直江津	町内会館の改築	1,500万円
以上、コミュニティセンター助成事業 小計			1,500万円
合計 8件			3,020万円